

編集長：塩澤諒子
編集委員：石井宏典 蛸灰谷愛 平岡惟
増田圭輔 矢原有理 ジャック・ファリス**2007年度冬学期ジュリー発表**
1年の総まとめ、来年度はさらなる飛躍を

text_kakibaya

2月8日、14日は2007年度冬学期の研究発表会、ジュリーが行われました。M1にとってはこの修士1年間のプロジェクトや研究の成果発表として、そして博士課程にとっては1年に一度の成果発表です。来年度はさらなる研究を進めるべく、それぞれの思いを胸に、1年の総まとめです。

【修士1年】**蛸灰谷愛**

「保育施設の整備と児童の保育環境に与える影響について」

鎌形敬人

「建築内の通り抜け道に関する研究」

亀長尚尋

「市民参加型の地域ビジネスによるまちづくりの可能性について」

北村修一

「瀬戸内海における船舶交通の活性化のための研究」

鈴木惇也

「歴史的建築物を活かした再開発事例の研究」

大道亮

「都市計画道路の撤廃に伴う、まちの将来像の共有に関する研究」

パンノイ・ナッタボン

「<吉祥寺-下北沢-自由が丘>の魅力の形成に関する研究」

平岡惟

「廃校になった小学校の利用に関する研究」

増田圭輔

「都市景観の定量化に関する研究」

矢原有理

「景観計画に向けた住民参加のしくみづくりに関する研究」

山田渚

「川や海に囲まれた島地における明確なエリアエッジによるまちのまとまりの形成と回遊性についての考察～横浜における埋め立ての歴史を例として～」

ジャック・ファリス

「日本とアメリカの市民農園の比較に関する研究」

【博士1年】**楊恵亘**

「東アジアの「都市再生のあり方」に関する研究（仮）」

鈴木智香子

「東京圏の戦後開発された郊外住宅地における景観に関する研究－景観まちづくりの観点から－」

江口久美

「フランスの都市の保全的刷新手法における中間諸団体の活動に関する研究（仮）」

【博士2年】**中島伸**

「戦災復興事業による都市空間形成の特性と実態に関する研究－戦災復興区画整理事業区域の空間構造、街区設計に着目して－」

ウィモンラット・ユイ

「Traditional Community and Its Roles in Balancing Heritage Conservation and Commodification: A Case of Bangkok」

【博士3年】**宋珍和**

「A study on the roles of cityscape management system of municipal level in cityscape identity management - focused on 23 wards of Tokyo」

2月6日、M2は修士論文の提出が完了。お疲れ様でした！発表の様子は次号に。

浅草PJ，地元でWS『通りの名付け』を实践

M1 北村修一

2月5日に、浅草プロジェクトで3回目となるワークショップが行われました。

前回までの2回のワークショップで提案した内容から、実際に一つを実践して、まちづくりを体験してもらおうという企画です。今回は最初に行う内容としてちょうどいいということで、「通りの名付け」というテーマで実践してみました。すると、地元の方から「ここはこういう通りだ」といった、私たちが知らない名前が多数出てきました。さらに「ここはこういう名前にしたい」といった提案も多数頂きました。地元で長年住んでいるだけあって、住民の方がとても積極的に参加してくださいました。そ

の分まとめる我々は一苦勞。。。本当はもっとじっくりと話を伺いたいところですが、時間が足りなくて、また今度となりました。

後から区史などを見返してみると、住民の方がおっしゃっていたことがそのまま書かれてる、なんてこともあり、まだまだ勉強不足だと反省しています。来年度はより具体的な内容に取り組んで、何か一つ実現できればなと思っています。



喜多方シンポジウム 今後の方向性を語り合う

D1 鄭一止

去年10月に喜多方蔵のまちづくり協議会が喜多方プロジェクトチームと連携し開かれた「喜多方蔵のまちづくり博覧会（くらはく）」（都市デザイン研マガジン第60号参照）を終えて以来、久しぶりに喜多方に行ってきました。そのくらはくの結果と今後の喜多方まちなかプランについて喜多方市民と一緒に語り、ビジョンを共有しようと「喜多方のまちづくりシンポジウム」が2月3日に開催されたのです。

その中では、市内在住の中学生を対象に実施された「喜多方の蔵悉皆調査」の結果発表がありました。学校で野原先生や地元の方を招き、蔵についての基礎勉強を行い、それから学生たち自ら学校周辺を歩き、蔵を数えながら、その場所を地図上に落とすなどの作業をやってもらう形で行われた蔵調査の結果発表は、中学生らしく、演劇、パワーポイント、絵本など様々な形で示され、中学生の蔵に対する考え方や、中学生パワーを感じさせました。

また、福島県からのまちなかプランをベースに北沢先生をコーディネーターとし、喜多方市長、商工会議所副会頭などが参加した中で今後の喜多方のまちづくりについてのパネルディスカッションも行われました。市民側から熱い意見が出るなど、喜多方に対する皆の関心が高まっているものの、たくさんの課題も残っていることから、これからのまちなかのあり方について再び考えさせる場でした。



新宿GBいよいよ完成へ

text_kakibaya

1月23日、新宿区景観ワーキンググループの全体ミーティングを終え、いよいよ新宿景観ガイドブックがデータ入稿へ向けて大詰めを迎えています。諸先輩方と私たちの汗と涙の結晶（景観調査報告書）をガイドブックという成果として残すべく、2日に1度は研究室で徹夜する（まるで論文生活？）体制で連日作業を進めています。



MTGでは他大学担当地区にも目を通し、触発されました



photo gallery



▲ Happy Birthday!
◀ 今年は雪が多いですね。
工1号館前広場も真っ白に。

第15, 16, 17回研究室会議

text_kakibaya

M2の修士論文提出、M1の2度目のジュリーを目前に、1月10日、29日、2月4日に8階会議室および2階144教室において研究室会議が開かれ、連日長時間にわたる熱い議論がされました。題目は以下の通り。

第15回

- M2 伊藤雅人 「東京山の手における旧河川道とその近辺に広がる密集市街地との関係性に関する研究」
- M2 後藤健太郎 「境界性と焦点性に着目した交叉点の景観に関する研究—東京都心部における特徴的な交叉点を対象として—」

第16回

- M1 鈴木惇也 「大規模再開発に伴う歴史的資源の活用」
- M2 石井宏典 「瀬戸内島嶼部における「醸造村」の形成と景観特性に関する研究—小豆島・内海地区の集落を対象に—」
- M2 Fadzli, Zubi 「Place making within the context of waterfront development: A Study on the Planning and Design of Odaiba Waterfront City, Tokyo」
- M2 伊藤雅人 「東京山の手密集市街地のまちづくりにおける旧河川道の可能性に関する研究」
- M2 筒井直央 「米軍基地跡地留保地の利用計画策定の実態と課題に関する研究」
- M2 塩澤諒子 「震災復興計画における小広場空間の計画思想と空間の変遷に関する研究」
- M2 ウィチエンプラディット ポンサン 「屋台村の空間と取り組みの効果に関する考察—中心市街地活性化の手法としての視点から—」
- M2 横田俊介 「日本の各自治体による夜間景観の形成手法の経緯とその実態に関する研究—金沢市夜間景観形成条例を事例として—」
- M2 奥田紘子 「東京都における官民一体型オープンスペースに関する研究」

第17回

- M1 北村修一 「瀬戸内海における船舶交通の活性化のための基礎的研究」
- M1 矢原有理 「エリアマネジメントにおける住民参加の体制づくりに関する研究」
- M1 鎌形敬人 「建築内のみち」
- M1 山田渚 「旧市街と新市街における回遊行動について」
- M1 パンノイ・ナッタポン 「東京の魅力とにぎわいのある空間づくりに関する研究—近年の都市開発によるオープンスペース空間分析と利用形態」
- M1 大道亮 「都市計画道路の撤廃が歴史的なまちなみ景観へ与える影響に関する研究」
- M2 後藤健太郎 「交叉点を構成する各街路の性格に着目した交叉点の景観特性に関する研究—東京都心部の特徴的な交叉点を対象として—」
- M1 平岡惟 「京都における廃校になった小学校について」
- M1 蛭灰谷愛 「これからの保育施設整備のあり方について」